

宇都宮共和大学子ども生活学部子ども生活学科履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、宇都宮共和大学学則第30条の規定に基づき、子ども生活学部子ども生活学科の授業科目の種類、単位数及び履修方法、教育職員免許状及び保育士資格に関する事項を定める。

(教育課程)

第2条 教育課程は、次のように編成する。

一 授業科目の区分は、基礎教育科目及び専門教育科目とする。

二 それぞれに必修科目、選択必修科目及び選択科目を置く。

(授業科目、単位数及び卒業単位、履修方法等)

第3条 各授業科目の時間数と単位数、および授業形態は、別表1のとおりとする。

2 卒業に必要な単位数は、基礎教育科目は必修3科目5単位および選択必修科目11科目15単位のうち6科目8単位以上を含む22単位以上、専門教育科目は必修10科目21単位および選択科目90科目134単位のうち82単位以上、合計102単位以上、合わせて124単位以上を履修しなければならない。

3 履修科目の年間登録の上限は、1年次49単位、2年次49単位、3年次49単位、4年次49単位とする。

4 既に単位を修得した授業科目及び上級年次配当の授業科目は履修することができない。

5 下級年次配当の授業科目は、自由に履修することができる。

6 教育職員免許法の規定により幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に規定する科目(教職に関する科目;別表2)の単位を修得しなければならない。また、児童福祉法の規定により保育士資格を取得しようとする者は、指定保育士養成施設指定基準に規定する科目(保育士資格に関する科目;別表3,4,5)の単位を修得しなければならない。

7 「保育実習」、「教育実習」、「卒業研究」に関する履修は別に定める。

(単位計算の基準)

第4条 単位計算の基準は、学則第23条の規定による。

(授業時間割表の公示)

第5条 毎学年の授業科目、担当教員及び授業時間割表は、学年の始めに公示する。

(履修授業科目の届出)

第6条 学生は、履修しようとする授業科目を毎学期の始め所定の期日までに学部長へ届出て承認を得なければならない。

(履修授業科目の終了認定及び評価)

第7条 履修した授業科目については、合格した者に単位を与える。

2 成績の評価は、学則第29条の規定による。成績表示は5段階とし、S・A・B・Cを合格、Dを不合格とする。

表示	S	A	B	C	D
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	60点未満

(不合格授業科目)

第8条 不合格授業科目について、単位を取得しようとするときは、第9条第3項及び第4項の場合を除き、次の学期以降にあらためて履修の上、合格しなければならない。

(試験)

第9条 定期試験は、特別の事情のある場合を除き毎学期末に行う。

- 2 授業の出席時間数が当該授業科目の総時間数の3分の2に達しない者については、原則として受験資格を与えない。
- 3 定期試験を病気又は事故等やむを得ない事由により受験できなかった者に対しては、本人の願い出により追試験を行う。
- 4 定期試験の結果、不合格となった授業科目について、再試験は原則として行わない。ただし、卒業年次の学生で別に定める要件を満たす者に限り、本人の願い出により再試験を行うことがある。
- 5 追・再試験を受験する者は、願書に所定の受験料を添えて申し込まなければならない。ただし、公欠の場合、受験料は必要がない。
- 6 担当教員が必要と認めた場合は、臨時試験を行うことがある。

(成績通知書)

第10条 学期毎の科目履修の結果については、毎学期末に成績通知書を交付する。ただし、卒業年次の学生については、卒業式当日までに交付する。

(進級)

第11条 第2学年から第3学年への進級にあたっては、41単位以上を修得していなければならない。

(不正行為)

第12条 第9条に規定する試験において不正行為を行ったと認められた者は、学則第41条の規定に基づき懲戒処分を受けるものとする。

- 2 不正行為を行った者に対しては、行為の軽重により、懲戒処分内容を本人及び保証人に通知又は学内に公示するほか、当該試験科目無効又は当該試験期の全試験科目無効等の取扱いを受けるものとする。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2019年4月1日から施行する。

別表1

宇都宮共和大学子ども生活学部子ども生活学科カリキュラム

科目区分	授業科目の名称	配当年次	時間数	単位数			授業形態			履修方法（卒業要件）	
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実技		
基幹	子ども生活学概論	1春	30	2			○			基幹科目の中から、必修科目を除く、6科目8単位以上を必修。	
	現代の教養講座Ⅰ	1-4春	30		2		○				
	現代の教養講座Ⅱ	1-4春	30		2		○				
	現代の教養講座Ⅲ	1-4春	30		2		○				
	現代の教養講座Ⅳ	4春	30	1			○				
	初年次基礎演習Ⅰ	1春	30		1			○			
	初年次基礎演習Ⅱ	1秋	30		1			○			
	初年次基礎演習Ⅲ	2集中	30		1			○			
	文章表現Ⅰ	1集中	30		1			○			
	文章表現Ⅱ	2集中	30		1			○			
	生活講座Ⅰ	1春	30		2		○				
	生活講座Ⅱ	2春	30		2		○				
	職業と家庭生活の設計	1秋	30	2			○				
基礎教育科目	生活と文化	生活技術演習Ⅰ	2春	30		1			○	基礎教育科目については、必修科目を含め、22単位以上を履修すること。	
		生活技術演習Ⅱ	2秋	30		1			○		
		子どもの生活と福祉	3春	30		2		○			
		子ども文化論	1秋	30		2		○			
		スポーツと健康Ⅰ	1春	15		1		○			
		スポーツと健康Ⅱ	1秋	30		1			○		
	言語と文化	オーラルイングリッシュⅠ	1春	30		1			○		
		オーラルイングリッシュⅡ	1秋	30		1			○		
		中国語Ⅰ	2春	30		1			○		
		中国語Ⅱ	2秋	30		1			○		
		韓国語Ⅰ	2春	30		1			○		
	韓国語Ⅱ	2秋	30		1			○			
	人間と社会	日本国憲法	1春	30		2		○			
音楽史		2-4春	30		2		○				
音楽理論		2秋	30		2		○				
社会学		1秋	30		2		○				
現代日本史		1秋	30		2		○				
人間とは何か		1春	30		2		○				
人間と心理		1秋	30		2		○				
コミュニケーションの心理学		2秋	30		2		○				
情報と自然科学	情報処理入門Ⅰ	1春	30		1			○			
	情報処理入門Ⅱ	1秋	30		1			○			
	子どもと自然環境	2-4春	30		2		○				
	子どもと住環境	3春	30		2		○				
	環境と資源	3春	30		2		○				
小計					3	53	0	22	16	0	
保育と教育	本質・目的的理解	保育原理	1春	30	2			○		専門教育科目については、必修科目のほか、選択科目のうちより82単位以上を履修すること。	
		教育原理	2春	30		2		○			
		保育者論	2秋	30		2		○			
		教育制度	3春	30		2		○			
	保育・教育の対象の理解	発達心理学	1秋	30	2			○			
		子ども家庭支援の心理学	2秋	30		2		○			
		子ども理解の方法と評価	2春	30		2		○			
		子どもの理解と援助	2秋	30		1		○			
		発達支援論	4秋	30		2		○			
		発達臨床心理学	4春	30		2		○			
		教育心理学	3秋	30		2		○			
		子どもの保健	2春	30		2		○			
		子どもの食と栄養Ⅰ	2秋	30		1			○		
子どもの食と栄養Ⅱ	3春	30		1			○				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	時間数	単位数			授業形態			履修方法（卒業要件）
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実技	
専門教育科目 保育と教育	保育・教育の内容・方法の理解	保育内容総論	1秋	30		2			○	
		保育内容 環境	2春	30		2		○		
		保育内容 健康	2春	30		2		○		
		保育内容 言葉	2秋	30		2		○		
		保育内容 表現	2春	30		2		○		
		保育内容 人間関係	2秋	30		2		○		
		保育指導法Ⅰ	3秋	30		1			○	
		保育指導法Ⅱ	4春	30		1			○	
		保育内容総合演習Ⅰ	1集中	30		1			○	
		保育内容総合演習Ⅱ	2集中	30		1			○	
		保育内容総合演習Ⅲ	3集中	30		1			○	
		保育内容総合演習Ⅳ	4集中	30		1			○	
		保育方法論	3春	30		2		○		
		保育・教育課程論	2秋	30		2		○		
		乳児保育Ⅰ	2秋	30		2		○		
		乳児保育Ⅱ	3春	30		1			○	
		子どもの健康と安全	3秋	30		1			○	
		フィールドワークⅠ	1集中	30		1			○	
フィールドワークⅡ	2集中	30		1			○			
教育福祉ボランティア	4春	30		1			○			
専門教育科目 家庭・地域・子育て支援と福祉	家庭・地域・子育て支援と福祉	社会福祉	1春	30	2			○		
		子ども家庭福祉	2春	30	2			○		
		社会的養護Ⅰ	2秋	30		2		○		
		子ども家庭支援論	4春	30		2		○		
		障害児保育	3春	30		2			○	
		特別の支援が必要な子どもの保育	3秋	30		2		○		
		社会的養護Ⅱ	3春	30		1			○	
		子育て支援	4春	30		1			○	
		保育相談	3春	30		2		○		
		異文化理解と子育て	3-4秋	30		2		○		
		海外保育研修Ⅰ	1~4集中	30		1			○	
		海外保育研修Ⅱ	1~4集中	30		2			○	
		グローバルコミュニケーション	1~4集中	30		1			○	
		子どもと地域福祉Ⅰ	2-4秋	30		2		○		
		子どもと地域福祉Ⅱ	2-4秋	30		2		○		
施設経営論	3-4春	30		2		○				
シティライフ学入門	1-4春	30		2		○				
NPOコミュニティビジネス論	3-4春	30		2		○				
子どもマーケティング論	3-4秋	30		2		○				
多様な保育財	多様な保育財	レクリエーション概論	1春	30		1		○		
		レクリエーション演習Ⅰ	1春	30		1			○	
		レクリエーション演習Ⅱ	1秋	30		1			○	
		野外活動Ⅰ	1春	30		1			○	
		野外活動Ⅱ	1集中	30		1			○	
		音楽Ⅰ	1春	30		1			○	
		音楽Ⅱ	1秋	30		1			○	
		音楽Ⅲ	2春	30		1			○	
		音楽Ⅳ	2秋	30		1			○	
		音楽Ⅴ	3春	30		1			○	
		音楽Ⅵ	3秋	30		1			○	
		音楽Ⅶ	4春	30		1			○	
		リトミックⅠ	1秋	30		1			○	
		リトミックⅡ	2春	30		1			○	
		教材研究（造形表現）	1春	30		1			○	
		図画工作	1秋	30		1			○	
		幼児体育	3春	30		1			○	
		教材研究（健康と運動）	3秋	30		1			○	
子どもと生活演習	2秋	30		1			○			
教材研究（言語表現）	1春	30		1			○			
子どもとおもちゃ	3-4秋	30		1			○			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	時間 数	単位数			授業形態			履修方法（卒業要件）
				必修	選択	自由	講義	演習	実習・実技	
専門 教育科目	音楽特講Ⅰ	2-4春	30		1			○		
	音楽特講Ⅱ	2秋	30		1			○		
	音楽特講Ⅲ	3春	30		1			○		
	音楽特講Ⅳ	3秋	30		1			○		
	音楽特講Ⅴ	3集中	30		1			○		
	音楽療法概論	3春	30		2		○			
	音楽療法Ⅰ（基礎）	3秋	30		2		○			
	音楽療法Ⅱ（臨床）	4春	30		1		○			
	音楽療法Ⅲ（技法）	4春	30		1		○			
	音楽療法総合演習	4春	30		2			○		
	音楽療法実習	4秋	120		3			○	○	
教育・ 保育実習	実習事前事後演習	2集中	30		1			○		
	保育実習指導Ⅰ（保育所）	2秋	30		1			○		
	保育実習指導Ⅰ（施設）	3春	30		1			○		
	保育実習Ⅰ（保育所）	2秋	90		2				○	
	保育実習Ⅰ（施設）	3春	90		2				○	
	保育実習指導Ⅱ（保育所）	3秋	30		1			○		
	保育実習Ⅱ（保育所）	3秋	90		2				○	
	保育実習指導Ⅲ（施設）	3秋	30		1			○		
	保育実習Ⅲ（施設）	3秋	90		2				○	○
	教育実習	2秋4春	210		5			○	○	
卒業 研究	研究方法の基礎Ⅰ	3春	30	2			○			
	研究方法の基礎Ⅱ	3春	15	1				○		
	卒業研究指導Ⅰ	3秋	30	2				○		
	卒業研究指導Ⅱ	4春	30	2				○		
	卒業研究指導Ⅲ	4秋	30	2				○		
	卒業研究	4春秋	30	4				○		
	保育・教職実践演習（幼稚園）	4秋	30		2			○		
	小計			21	137	0	39	59	6	
	合計			24	191	0	61	75	6	

別表2

子ども生活学部子ども生活学科において幼稚園教諭一種の資格を取得しようとする者は、本表に掲げる科目をすべて履修することを要する。

教育職員免許法による教科目		授業科目の名称	授業形態	単位数
免許取得に必要な基礎教育科目		日本国憲法	講義	2
		スポーツと健康Ⅰ	講義	1
		スポーツと健康Ⅱ	実技	1
		オーラルイングリッシュⅠ	演習	1
		オーラルイングリッシュⅡ	演習	1
		情報処理入門Ⅰ	演習	1
		情報処理入門Ⅱ	演習	1
			小計	8
領域及び保育内容に関する科目	領域に関する専門的事項	保育内容 健康	演習	2
		保育内容 表現	演習	2
		保育内容 人間関係	演習	2
		保育内容 言葉	演習	2
		保育内容 環境	演習	2
	保育内容の指導法	保育内容総論	演習	2
		保育内容総合演習Ⅰ	演習	1
		保育内容総合演習Ⅱ	演習	1
		保育内容総合演習Ⅲ	演習	1
			小計	16
教育に関する基礎的理解に	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	講義	2
	教職の意義及び教員の役割	保育者論	講義	2
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	教育制度	講義	2
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の課程	教育心理学	講義	2
		発達心理学	講義	2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別の支援が必要な子どもの保育	講義	2
教育課程の意義及び編成の方法	保育・教育課程論	講義	2	
			小計	14
生徒指導、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育方法論	講義	2
	幼児理解の理論及び方法	子ども理解の方法と評価	講義	2
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	保育相談	講義	2
			小計	6
に教育実習に関する科目	教育実習	教育実習	実習・演習	5
	教職実践演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2
			小計	7
大学が独自に設定する科目 （★は必修。★以外から8単位以上選択）		音楽Ⅰ ★	演習	1
		音楽Ⅱ ★	演習	1
		リトミックⅠ ★	演習	1
		リトミックⅡ ★	演習	1
		音楽Ⅲ	演習	1
		音楽Ⅳ	演習	1
		音楽Ⅴ	演習	1
		幼児体育	演習	1
		図画工作	演習	1
		保育指導法Ⅰ ★	演習	1
		保育指導法Ⅱ ★	演習	1
		レクリエーション概論	講義	1
		レクリエーション演習Ⅰ	演習	1
		レクリエーション演習Ⅱ	演習	1
フィールドワークⅠ	演習	1		
フィールドワークⅡ	演習	1		
			小計	16(8)
合計				59

別表3

子ども生活学部子ども生活学科において保育士の資格を取得しようとする者は、
 本表に掲げる科目のうち、「外国語、体育以外の科目」から6単位以上、
 「外国語」から2単位以上、「体育」から2単位以上を履修することを要する。

厚生労働大臣告示による教科目		宇都宮共和国子ども生活学部における教科の開設状況		
系列	教科目	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数
教養科目	外国語、体育以外の科目	子ども生活学概論	講義	2
		現代の教養講座Ⅰ	講義	2
		現代の教養講座Ⅱ	講義	2
		生活講座Ⅰ	講義	2
		生活講座Ⅱ	講義	2
		職業と家庭生活の設計	講義	2
		生活技術演習Ⅰ	演習	1
		生活技術演習Ⅱ	演習	1
		子どもの生活と福祉	講義	2
		子ども文化論	講義	2
		子どもと住環境	講義	2
		コミュニケーションの心理学	講義	2
	外国語	オーラルイングリッシュⅠ	演習	1
		オーラルイングリッシュⅡ	演習	1
	体育	スポーツと健康Ⅰ	講義	1
スポーツと健康Ⅱ		実技	1	
合計				26

別表4

子ども生活学部子ども生活学科において保育士の資格を取得しようとする者は、
本表に掲げる科目をすべて履修することを要する。

厚生労働大臣告示別表第1による教科目		宇都宮共和大学子ども生活学部における教科の開設状況		
系列	教科目	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	講義	2
	教育原理	教育原理	講義	2
	子ども家庭福祉	子ども家庭福祉	講義	2
	社会福祉	社会福祉	講義	2
	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	講義	2
	社会的養護Ⅰ	社会的養護Ⅰ	講義	2
	保育者論	保育者論	講義	2
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	発達心理学	講義	2
	子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	講義	2
	子どもの理解と援助	子ども理解の方法と評価	講義	2
		子どもの理解と援助	演習	1
	子どもの保健	子どもの保健	講義	2
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	1
子どもの食と栄養Ⅱ		演習	1	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	保育・教育課程論	講義	2
	保育内容総論	保育内容総論	演習	2
	保育内容演習	保育内容総合演習Ⅰ	演習	1
		保育内容総合演習Ⅱ	演習	1
		教材研究（造形表現）	演習	1
		教材研究（健康と運動）	演習	1
		教材研究（言語表現）	演習	1
		音楽Ⅰ	演習	1
	保育内容の理解と方法	保育内容 健康	演習	2
		保育内容 表現	演習	2
		保育内容 人間関係	演習	2
		保育内容 言葉	演習	2
		保育内容 環境	演習	2
	乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	講義	2
	乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	演習	1
	子どもの健康と安全	子どもの健康と安全	演習	1
	障害児保育	障害児保育	演習	2
		特別の支援が必要な子どもの保育	講義	2
	社会的養護Ⅱ	社会的養護Ⅱ	演習	1
	子育て支援	子育て支援	演習	1
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2
		保育実習Ⅰ（施設）	実習	2
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1
		保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	1
総合演習	保育実践演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習	2
合 計				63

別表5

子ども生活学部子ども生活学科において保育士の資格を取得しようとする者は、本表に掲げる科目のうち、10単位以上を履修することを要する。ただし、保育実習Ⅱ（保育所）及び保育実習指導Ⅱ（保育所）、又は保育実習Ⅲ（施設）及び保育実習指導Ⅲ（施設）を履修することを要する。

厚生労働大臣告示 別表第2による教科目	宇都宮共和国子ども生活学部における教科目の開設状況等		
系列	左に対応して開設されている教科目	授業 形態	選択 必修
保育の本質・目的に 関する科目	異文化理解と子育て	講義	2
	子どもと地域福祉Ⅰ	講義	2
	子どもと地域福祉Ⅱ	講義	2
	施設経営論	講義	2
保育の対象の 理解に関する科目	発達支援論	講義	2
	発達臨床心理学	講義	2
	保育相談	講義	2
保育の内容・方法に 関する科目	保育方法論	講義	2
	リトミックⅠ	演習	1
	リトミックⅡ	演習	1
	音楽Ⅱ	演習	1
	音楽Ⅲ	演習	1
	音楽Ⅳ	演習	1
	音楽Ⅴ	演習	1
	音楽Ⅵ	演習	1
	音楽Ⅶ	演習	1
	子どもとおもちゃ	演習	1
	子どもと生活演習	演習	1
	教育福祉ボランティア	演習	1
保育実習	保育実習Ⅱ（保育所）	実習	2
	保育実習指導Ⅱ（保育所）	演習	1
	保育実習Ⅲ（施設）	実習	2
	保育実習指導Ⅲ（施設）	演習	1
合 計			33